

令和3年度 横浜市立四季の森小学校 学校だより
このまちに生き、共に輝く子

ねばり強く取り組む子 思いやりのある子 命を大切にする子 地域に愛着をもつ子 社会への視野を広げる子



四季の森

5月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shikinomori/>

相手を想う

校長 笹原 洋子

木々の若葉が朝日を浴びてきらきらと輝き、新緑の生命力をみなぎらせる頃となりました。

新年度が始まって1ヶ月。子どもたちの様子を見ながら、改めて、『節目』の大切さを感じました。4月7日に1学年進級した子どもたち。子どもたちは『進級したからしっかりしよう!』と自分自身に課している様子です。3月よりも遅刻をしなくなった子、丁寧に文字を書いている子、先生の話にじっと耳をすませる子など、それぞれ『進級』という節目で一回り立派になったなあと実感した4月です。

今年度着任した先生に、四季の森小の子どもたちの印象を聞きました!

- ・自分からあいさつできる子が多い。 ・素朴 ・元気 ・掃除を一生懸命にやる子どもたち。
- ・トイレ掃除をしていたら、6年生が「お疲れ様です。」と声をかけてくれました。すてきな言葉をかけられる子どもですね。
- ・自分が思ったことや感じたことを、言葉に出して伝えることができる、素直な子ですね。
- ・学校周辺のことを親切に教えてくれたり、先生のことにも気にかけてくれたりする、優しい子が多い。

どの学級も『道徳』の学習をします。先日、ある学級で『道徳は自分のことを見つめ直す時間』『相手を想うこと』が大切と話していました。当然、道徳も授業なので、指導する『価値』があります。その『価値』の大切さを全員で共有します。しかし、その『価値』の大切さはわかって、なかなか実践できないのが人間です。それについて「どうして実践できないのだろう。」「どんな風に考えたら、そんな行動ができるのかな。」と友達の考え方を聞きながら、「自分はどのようにしようかな」と考えるのが道徳の時間です。

例えば、今、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために行動の自粛が求められています。ほとんどの人が「早くコロナウイルスが終息すればいいのに。」と思っているでしょうが、なかなかうまくいきません。すべての人に生活があるので、生活のために仕事をしたい。買い物にも出なくてはいけない。また、人間らしく生活するために、人とのコミュニケーションも図りたい。家の中にばかりいたのでは、閉塞感を感じてしまう等、それぞれの人の『想い』があります。皆さんはどのようにお考えでしょうか。学校でコロナウイルスをテーマに道徳の授業は行いませんが、ご家庭で、子どもたちと一緒に『相手を想う』から発展させて『それぞれの立場の人の想い』などを想像しながら、「私たちにできることは何だろう。」と話し合ってみてはいかがでしょうか。

ゴールデンウィークが始まります。横浜市ではまん延防止等重点措置として外出自粛が呼びかけられています。子どもたちはこの1か月、とても張り切っていたので疲れているのではないかと思います。ご家族で会話を楽しみ、リラックスしてゆったりと過ごすのもよいかもしれません。

注) 頭で考えるおもい・・・思い 心で感じるおもい・・・想い と使い分けています。